



東北大学病院 血液・免疫科
Tel ; 022-717-7165
Fax ; 022-717-7497

Vol.6 2012年5月発行

巻頭言

新緑の季節となりました。先生方におかれましては
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、前回のニュース配信から三浦亮先生の叙勲、
石澤先生の臨床試験推進センター特任教授就任と
ビッグな出来事がいくつもありました。今回の血免
ニュースではこれらの祝賀行事の紹介と新たに医局
の仲間となった先生方の紹介を主たる記事としてい
ます。私自身は、新年度になって副病院長を拝命し、
病院の管理・運営に関わる仕事が多くなりました。それに伴い、診療・研究・医局運営の実務すべて
を行うことが難しくなっまいりしたので、対外的な仕事も含め、どんどん次世代に仕事を任せてい
こうと思っています。そのためには、それぞれが東北大学血液免疫科の顔であることを自覚し、前面に
出てもらわなければなりません。行き届かないことが多々出てくると思いますが、先生方におかれま
しては、時に暖かく、時に厳しくご指導いただければ幸いです。

(張替秀郎)

今号の内容

- 壱 医局行事報告
三浦先生祝賀会
石澤先生祝賀会
- 貳 新人紹介
- 参 人事異動

壱 医局行事報告

昨年秋に、第二内科OBの三浦亮先生(元秋田大学学長、現秋田大学医学部名誉教授)が、長
年にわたる教育研究に対する功績を認められ瑞宝重光章を受章されました。また、本年4月に
は、石澤賢一先生が東北大学病院臨床試験推進センターの特任教授に就任されました。先生
方の御功績に敬意を表し、また今後の益々の御活躍を祈念して、当医局でも祝賀会を設けさせ
ていただきました。(次頁へつづく)

三浦亮先生 瑞宝重光章受賞祝賀会



三浦亮先生 瑞宝重光章受賞記念祝賀会

平成23年11月3日、当科OBで秋田大学医学部名誉教授の三浦亮先生が瑞宝重光章を受章なさいました。一昨年の山田先生の受章に引き続いての慶事で、平成24年1月28日、受章祝賀会を仙台の勝山館で開催いたしました。

当日は厳しい寒さにも関わらず、柴田昭新潟大学医学部名誉教授を始め、約50名のOBの先生方、現役の医局員が出席し盛大に執り行われました。祝賀会は張替教授、佐々木名誉教授の祝辞に引き続き、山田先生の乾杯で、和やかな雰囲気のもと進行しました。OBの先生方からは、三浦先生の学生時代の逸話や血液免疫科揺籃期のエピソード、秋田大学に移られてからも常に東北大学血液免疫科に気配り頂いていたことなどが披露され、そのおらかな人柄と共に、改めてOBの先生方の御支援があって現在があると強く実感いたしました。祝賀会御開きの後、OBの先生方は勝山館のバーに場所を移して、遅くまで思い出話に花を咲かせたとの事です。

三浦亮先生の、今後のますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。(石澤賢一)



石澤賢一先生特任教授祝賀会

今年4月東北大学病院治験センターとTRセンターが統合され臨床試験推進センターとなり、今後、より活発な臨床試験を展開していくことが期待されております。それに伴い当教室准授であった石澤賢一先生が臨床試験実施部門長に特任教授として就任されました。これをお祝いしまして、4月6日に勝山館にて石澤賢一先生特任教授祝賀会を開催し、当教室員、OBの先生方、治験センターCRCの皆様、総勢76名もの方々に参加して頂きました。御来賓のご祝辞では、石澤先生の、医者になった直後から臨床研究の重要性を唱え続けた一貫した姿勢、「何かするなら石澤に」と言われるまでの行動力と人望について話していただきました。また、石澤先生御本人より臨床研究の重要性と新しい治療法への熱い思いを語って頂きました。石澤先生が臨床試験推進センターにいらっしゃることは我々にも大変心強いことであり今後も同センターの発展を願いたいと思います。当日はお忙しい中御参加頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。

(藤井博司)

式 新人紹介

今年は5名の新しいメンバーが加わりました。研究・臨床ともに益々のご活躍を期待します。



(斎藤真一郎)

本年4月から血液免疫科に採用になりました斎藤真一郎です。仙台市内の病院に勤務し数年ぶりの大学復帰になりました。前勤務地の仙台逓信病院では膠原病、特に関節リウマチの診療を行ってまいりました。ここ数年生物学的製剤の登場により治療成績も著しく向上し、以前は難しかった「寛解」を目指し治療を進めることができるようになりました。さらに関節の超音波検査が導入され、直接関節液、骨びらん、滑膜の肥厚、さらにはドップラー法で組織の新生血管を描出することにより活動性滑膜炎を観察できます。このように超音波法は多くの情報が得られ、被爆の影響もない有効で安全な検査といえます。必要に応じて経時的に繰り返すことにより随時病態が把握され、生物学的製剤等の薬剤の選択に有効な指標となり治療効果も高まると期待されます。今後も微力ながら患者様方と血液免疫科のために精進して参りたいと存じます。よろしくお願いいたします。



(藤田洋子)

4月より、血液免疫科の先生方をはじめ、皆様大変お世話になっております。私は、2002年に大学を卒業した後麻酔科、内科、循環器内科(少々)を経て免疫科を専門にやって行きたいと決意し、ゼロからスタートさせて頂いています。大学時代はソフトテニス部で、体を動かすのは好きでしたが、脳を動かすのは得意ではないようで(自覚はしていたのですが)、現在悪戦苦闘しております。早く皆様のお役に立てるように精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



(鴨川由紀子)

今年4月から後期研修医として血液免疫科に入局させていただきました鴨川由起子です。東北大学を卒業し、初期研修も東北大学病院でさせていただきました。初期研修中に2ヶ月ほど免疫グループにお世話になり、膠原病をさらに勉強してみたいと強く思うようになりました。奥が深く大変難しい分野ではありますが、今は多くの指導医の先生方にめぐまれ大変充実した日々を過ごさせて頂いています。まだまだ未熟ですが指導医の先生方に少しでも追いつけるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

式 新人紹介つき



(高橋奈津子)

この3月に東北大学の保健学専攻老年保健看護学分野博士前期課程を修了し、4月より大学院に入学させていただきました看護師の高橋奈津子と申します。仙台青葉学院短期大学看護学科の専任教員もしております。まだ昭和のころ、都立駒込病院の看護学校で血液内科の先生より骨髄移植の講義を受けてとても関心を持った事をおぼえています。卒業後、東京大学医科学研究所附属病院、骨髄バンク中央事務局に数年勤務しておりましたが、その後は全く血液疾患から離れ、勉強もおろそかにしていましたので、多くの自己課題を自覚し、今、新たに学び直したい気持ちにあふれています。治癒が難しい疾患に挑まれる医師と患者さんに役立つ調査・研究を出来る限りやってゆきたいと思っておりますので、どうか、ご指導よろしくお願い申し上げます。



(那須健太郎)

大学院1年目として入局させて頂きました新参の那須健太郎と申します。出身は宮城県、平成18年日本医科大学を卒業、大崎市民病院で初期研修にて2年、長野赤十字病院血液内科にて2年、がん研有明病院化学療法科にて2年研修しました。今まで血液の先生方には良い刺激を受けてきており今まで血液で続いている状況です。長期的には、血液の小宇宙的な魅力が世間にもっと認知されるために何か具体的なことをしたいと思っています。慣れないうちは甚大なご迷惑をおかけするかもしれませんが、まず慣れるところまでよろしくお願いいたします。

参 人事異動

4月付で異動になった医局員は以下の通りです。

木幡 桂先生 東北大学病院 → 仙台市立病院
斎藤 真一郎先生 仙台逋信病院 → 東北大学病院
井上 あい先生 石巻赤十字病院 → 東北大学大学院医学系研究科
関 正則先生 NTT東日本東北病院 → 筑波大学病院
阿部 正理先生 仙台逋信病院 → NTT東日本東北病院
高澤 徳彦先生 東北大学病院 → 太白さくら病院
中鳶 真治先生 東北大学大学院医学系研究科卒 → 東北大学病院 医員
鈴木 真紀子先生 東北大学大学院医学系研究科卒 → 東北大学病院 医員
白井 剛志先生 東北大学大学院医学系研究科卒 → 東北大学病院 医員

血液免疫科内の役職が変わりました。

医局長:石澤賢一 → 藤井博司

外来医長:藤井博司 → 勝岡優奈

新年度の始まりに際し、医局長、病棟医長、外来医長よりご挨拶申し上げます。



今年4月より血液免疫科医局長を拝命した藤井博司です。まだまだ不慣れな点もあり、先生方にもいろいろとご迷惑おかけするかもしれませんが御指導御鞭撻の程よろしく申し上げます。
(医局長:藤井博司)



無い袖(ベツト)は振れないのですが、適切なタイミングで必要な治療ができるようにと日々努めております。
(病棟医長:福原規子)



今年四月より血液免疫科外来医長を拝命しました。外来に訪れる患者様に、円滑に最善の医療を提供できるよう努めたいと思います。至らぬ点多々あるかと思いますが、御指導御鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。
(外来医長:勝岡優奈)